

「三船小学校の春花太鼓踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	始良市立三船小学校
2. 学年・人数	6年生 40人
3. 日時・場所	令和7年1月17日（金）5・6校時 ※ 令和6年度 三船小学校 体育館 ※ 今年度は、令和8年1月10日（土）に実施予定
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	<p>(1) 名称 市指定無形民俗文化財 春花太鼓踊り（はるけたいこおどり）</p> <p>(2) 由来 市の無形文化財に指定されており、約400年の歴史をもつ郷土芸能である。この踊りは、文禄・慶長の役から凱旋踊りとして、また、病を鎮める効験があるとして、島津義弘公によって始められたとされ、今日まで伝承されてきた。現在は、春花太鼓踊り保存会を中心に継承活動が続けられている。</p> <p>(3) 構成等 踊りは先導役のホタ振り、鉦打ち、太鼓打ちで構成され、道を行進する道太鼓、神社の境内等の広場で円陣を組んで踊る庭踊りがある。</p>
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	<p>今年度は、10月4日に蒲生町辻通り、蒲生八幡神社で太鼓踊りが披露された。現在、保存会では、夏休みに小・中学生を中心に公民館や公園で練習を行っている。郷土芸能として受け継がれている太鼓踊りだが、年々踊り子が減っている状況から後継者育成が課題となっている。</p> <p>そこで、三船小では6年生の総合的な学習の時間に保存会の方を学校にお招きし、太鼓踊りの由来や踊り方を学ぶ活動を行っている。そうすることで、春花自治会だけでなく、三船校区全体で学ぶことができる。</p> <p>踊りは、兜や陣笠、陣羽織等の衣装を着て、顔は口紅と鼻筋の白粉を塗り、ひげを付ける。化粧こそしなかったが、子供たちは太鼓踊りにチャレンジすることができた。今後も保存会と連携を取りながら継続して太鼓踊りを継承していける体制づくりに努めたい。</p>
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>太鼓をたたきながら踊りの練習</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ホタ振りの練習</p> </div> </div>
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 初めて太鼓踊りに参加した。太鼓をたたきながら足を動かすので難しかった。鉦をみんなと合わせてたたくのが楽しかった。【児童】 ○ 小学生は覚えるのが早い。少しやっただけですぐにできるようになる。体が動くうちは若い人に伝えていきたい。【保存会】 ○ 後継者が減っているので、学校の教育活動の一環として取り組んでもらえるのは大変ありがたい。【地域】 ○ 太鼓だけでなく、ホタや鉦も経験することができた。生き生きと活動していたので一人でも継承する子が出てきたらうれしい。【教職員】